



## 確かな答えがでない状況に耐えつつ、工夫して乗り越える

校長 田村 稔

今年度の運動会をどう行うべきか。昨年度よりも新型コロナウイルス感染症の拡大状況がひどくなっていることを踏まえると、昨年度講じた対策を安易に緩めるわけにはいきません。大声での応援などできるだけ感染につながる行動は避けるべきだと考えました。しかし、一方で子どもたちにとって充実した運動会になるよう、応援など力いっぱいやらせてあげたいという気持ちもあります。保健衛生管理の厳格化の必要と教育活動の充実の必要。相反する必要にどう対応すべきか。

赤泊小学校では、4月当初から教職員で話し合いを重ね、新しい生活様式からはずれないよう工夫してできる活動を行うという方針を決定しました。子どもたちが自ら考え、自ら工夫することが学びの質を高めます。具体的には、以下の方策を講じることとしました。

- ① 応援団は組織する。ただし、大きな声を出す場面はできるだけなくす。そのために、応援席や応援タイムでは身体的距離を2m以上確保するとともに、大きな声を出すのは応援団リーダーに任せる。その他の子どもたちは鳴り物で大きな音を出したり、ダンスをしたりして仲間を応援する。
- ② 競技の部については得点化せず、赤白のどちらが勝ったか白黒つけない。代わりに個人のがんばりを認めることを重視する。また、応援賞も設けない。
- ③ リレーは実施し、1～4位を表彰する。ただし、バトンが感染媒体になる可能性もあるため、走り終わった児童から順次手指を消毒する。
- ④ 徒競走や興味走は感染につながることはないよう内容を慎重に検討しつつ行う。感染リスクの高い団体競技は行わない。
- ⑤ 種目数を減らすことで半日日程にする、応援にお出でいただくご家庭の皆様には人数制限をし、地域の皆様には参観をお控えいただくなど、昨年度同様の対策を講じ感染リスクを下げる。

特に①、②によって子どもたちに新たな動きが見られました。まず、応援です。子どもたちは赤白ごとに自分たちでダンスの振り付けを考えました。休み時間にも集まって相談し練習を重ねる応援団リーダーたち。また、ダンスの仕方やペットボトル製の鳴り物の作り方を高学年児童が下学年児童に教える姿が見られました。(子どもたちが踊るダンスがなかなかカッコいいのです。)赤白の応援団が合体し一つの応援団になってダンスする工夫も生まれました。これまでの子どもたちのがんばりを見てきた私は、練習も運動会当日も子どもたちが一生懸命踊っている姿、赤白入り混じって応援する姿を見る度に目頭が熱くなってしまうほど感動していました。

新型コロナウイルス感染症予防のために制限された中でも、何とか工夫して矛盾した状況を一生懸命乗り越えた子どもたち。この経験はきっと次に生きるはず。子どもたちのがんばりに大きな拍手を贈りたいと思います。保護者、地域の皆様のご理解、ご協力に感謝いたします。

# 6月の予定

日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	火	知能検査（2～6年）	16	水	個別懇談会（2日目）
2	水	P T A総務会	17	木	クラブ活動
3	木	クラブ活動	18	金	A L T来校
4	金	A L T来校	22	火	ふれあいタイム
7	月	るるぶ週間（13日まで）	23	水	学校スクールカウンセラー来校
9	水	体力テスト	24	木	委員会活動
10	木	委員会活動，ノーテレビの日	25	金	全校朝会
11	金	児童朝会	28	月	家庭学習強調週間 (7月4日まで)
15	火	個別懇談会（1日目），集金日			

## スナップ 子どもたちのがんばりが輝いた運動会



### おしらせ

新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度は佐渡市小学校親善水泳大会と親善陸上大会は実施しないこととなりました。また、赤泊小学校では、水泳授業にあたっての保健衛生管理が十分に行うことが難しいため、今年度は水泳授業を行いません。保護者の皆様には6月1日に文書を配付いたしましたので、詳しくはそちらをご覧ください。なお、水泳学習を行わない授業時間については別の体育活動を行ったり、カリキュラムを入れ替えたりするなどして、子どもの体力の低下につながらないよう努めます。昨今の感染状況や社会情勢等をご賢察の上、ご理解いただけますようお願いいたします。

子どもたちのすてきな姿が目白押し！赤泊小学校ホームページをご覧ください。

